広報

かるまい3

平成28年（2016年） No.684

オニは～そと！

今月の主な内容

■第５次軽米町行政改革大綱を策定 … 2
■中高生海外派遣事業 …… 6～7
■生涯学習フェスティバル …… 8

第5次軽米町行政改革大綱を策定

町では、「軽米町行政改革大綱」を策定し、効率的な町政の実現を目指して取り組んでいます。第4次の計画期間が本年度で終了することに伴い、平成28年2月26日に、平成28年度から32年度までを推進期間とする第5次軽米町行政改革大綱（以下、第5次大綱）を策定しましたので、主要項目や目標などをお知らせします。

第4次大綱の実績

第4次行政改革（平成23～27年度）では、急激に進む少子高齢化社会や情報化社会、町民ニーズの多様化などへ対応するために様々な取り組みを行いました。

かるまいテレビの放送サービスを開始し、文字放送のほか、ニュースジャーナルやイベントビデオで町民の方への情報提供を行いました。平成26年度には町民意識調査で皆さまから、かるまいテレビに関する意見をいただき、今後も内容の充実を図ります。

また、保育園や児童館、小・中学校の統廃合も推進しました。現在、町内には1幼稚園、4保育園、小学校3校、中学校1校となっています。軽米小学校の建て替えと晴山保育園の新設も実施して、町内の常設保育園は3施設となりました。

そのほか、町民バスやスクールバスの運行体制の整備、職員数の削減や平成27年10月からの再生可能エネルギー推進室の設置などに取り組みました。

平成25年に落成の軽米小学校（上）と同27年落成の晴山保育園

第5次大綱の概要

推進の主要事項

- 町民との協働によるまちづくり
- 質の高い行政サービスの提供
- 行政組織運営の確立
- 健全な財政基盤の維持

第5次大綱は、この4項目を行政改革の推進に向けた大きな柱とし、項目ごとに取り組みを定めました。

『町民との協働によるまちづくり』の推進に向けては、町民と行政が同じ目線に立ってまちづくりを考えられるよう、今年度新たに設置した軽米町百人委員会のさらなる充実などを設定しました。

『質の高い行政サービスの提供』に向けては、窓口対応やインターネットなどの情報通信技術を活用した行政サービスを充実させるほか、事務事業評価を行い、事業の簡素化や外部への委託などに取り組みます。

『行政組織運営の確立』では、限られた人数と財産でより効率的に事業を進めるため、新採用職員が即戦力として力を発揮できるよう、職員研修の項目に、新採用職員のスキルアップ研修が加えられました。

『健全な財政基盤の維持』では、平成26年にお礼品の見直しをしたふるさと納税の首都圏域でのPRを強めるほか、遊休財産などの有効利用や処分などを項目に設定し、財源の確保と支出の抑制に取り組みます。

今回策定した第5次大綱は、毎年度評価を行い実施計画を見直しながら、役場全庁を挙げて推進します。

詳しい大綱の内容は、町民ホールと町のホームページでご覧いただけます。

子どもたちの笑顔がより輝く町へ

毎週水曜日、町民生活課・税務会計課では時間外の証明書交付を行っています

各種証明書の交付は通常、午前8時30分～午後5時15分までの開庁時間内で行っていますが、毎週水曜日は、事前に電話予約をいただいた場合、時間外に受け取ることができます。日中、仕事などの都合により窓口に来られない方は、ぜひ時間外交付をご利用ください。

予約受付時間は？

毎週月曜～金曜日（祝日を除く）
午前8時30分～午後5時15分

受け取り時間は？

毎週水曜日（祝日を除く）
午後5時15分～午後7時30分

受け取れる証明書の種類は？

時間外の交付が可能な証明書は下の表のとおりです。町民生活課と税務会計課でそれぞれ交付しています。

町民生活課	【戸籍関係】
	戸籍謄本・抄本、除籍、改製原戸籍謄本・抄本、戸籍の附票謄本・抄本、戸籍記載事項証明書
	【住民票関係】
	住民票の謄本・抄本、住民票の除票、住民票記載事項証明書
	【印鑑登録関係】
	印鑑登録証明書、印鑑登録
税務会計課	【税務関係】
	所得証明、所得・課税証明、所得扶養証明、所得・課税・扶養証明、営業証明、児童手当用証明、納税証明、評価証明、公課金証明

受け取りは誰でも可能？

証明書によって受け取りが可能な方は限られます。

■戸籍関係
戸籍に記載されている方ご本人、配偶者または直系に該当する方

■住民票関係
本人または同じ世帯の方

■印鑑登録関係
印鑑登録証明書の発行はどなたでも可能ですが、交付には印鑑登録証（赤い手帳）が必要です。
※印鑑登録については、予約の際に電話でご確認ください。

■税務関係
本人、同居の親族、相続人、納税管理人
※その他の方は委任状が必要です

役場に持っていくものは？

■受け取りの際に必要なもの
○印鑑
○本人確認書類
○委任状（必要に応じて）
運転免許証やマイナンバーカードなどの本人であることを確認できる書類、代理で受け取りに来たことを証明できる書類などが必要になる場合があります。詳しくは、予約の時にご確認ください。

水曜日の時間外交付は、必ず予約をしてからお越しください。予約の無い場合は交付できません。

町民生活課への予約・問い合わせは☎46－4735へ、税務会計課への予約・問い合わせは☎46－4737へお電話ください。

マイナンバーをもっと知ろう

その7

広報1月号では、マイナンバーの提示が必要になる手続きなどについて紹介しましたが、マイナンバーのやり取りが必要になるのは、役場などでの手続きに限りません。来年以降に作成される源泉徴収票や給与支払報告書には、個人番号の記載が義務付けられています。誰もが、マイナンバーを提供したり、提供してもらったりする可能性があります。マイナンバーは、提供する側も提供される側も厳格な取り扱いが求められています。情報漏えいなど、法令違反のないよう一人ひとりの注意が必要です。

マイナンバーの利用は

賃金や報酬などが支払われた場合、支払った側では翌年の1月中に源泉徴収票や給与支払報告書などを税務署または役場などに提出することになっています。

来年提出するそれらの帳票には、賃金や報酬を受け取った側の個人番号の記載が義務付けられています。このため、従業員を雇っている会社だけでなく、農業や商店など、個人事業主の方も、人を雇って賃金や報酬を支払った場合は、相手からマイナンバーの提供を受ける必要があります。

マイナンバーの提供を受けるときは、何に使うのか利用目的をしっかりと相手に伝えることが必要で、相手に伝えた目的以外には、使用できないことになっています。

例えば、源泉徴収票に使うからと説明して提供されたマイナンバーは、雇用保険の手続きなどでは利用することができず、雇用保険に使う目的を伝え、改めて提供を受けなければならない、などです。

複数の手続きなどについて利用する場合は、すべての利用目的を相手に伝える必要があります。

マイナンバーの提供を受けるときは、何に使うのか利用目的をしっかりと相手に伝えることが必要で、相手に伝えた目的以外には、使用できないことになっています。

例えば、源泉徴収票に使うからと説明して提供されたマイナンバーは、雇用保険の手続きなどでは利用することができず、雇用保険に使う目的を伝え、改めて提供を受けなければならない、などです。

複数の手続きなどについて利用する場合は、すべての利用目的を相手に伝える必要があります。

【民間でマイナンバーが必要な手続き】

- 源泉徴収票や給与支払報告書など、税に関する調書
- 雇用保険に関する調書
- 健康保険や年金に関する調書

※日本年金機構の手続きには、一定期間利用されないこととなっています。

提供を受ける際に必要な確認措置

マイナンバーの提供を受けるときは、正確なマイナンバーの確認とマイナンバーが実在する本人のものなのかを確認する「身元確認」が必要になります。

マイナンバーの提供を受ける側も提供する側にとっても面倒と思われる手続きですが、他人になりすました悪用やマイナンバーの取り違えによるトラブルを防ぐために、重要な手続きになります。

正確なマイナンバーの確認

- マイナンバーカード
- 通知カード
- 個人番号が書かれた住民票の写し

など

身元の確認

写真付のもの（次のうち一つ）

- 運転免許証　・パスポート
- 氏名や住所などが書かれた社員証や資格証明書　など

写真のないもの（次のうちの二つ）

- 健康保険証　・年金手帳
- 母子健康手帳
- 納税通知書や公的料金の領収書
- 氏名や住所などが書かれた社員証や資格証明書　など

コピーするときの注意点

マイナンバーカードの表面には、ドナー登録など、マイナンバーの手続きに関係のない個人情報が書かれている場合があります。

マイナンバーカードは、普段見られたくない欄が塗りつぶされているビニール製のケースに入れてお渡ししていますので、証拠書類としてコピーする場合、表面はケースに入れたままコピーをし、マイナンバーが書かれた裏面は、ケースから外してコピーするなどの配慮が必要になります。

ケースに入れるとマイナンバー欄が目隠しされます

ケースに入れると性別とドナー登録欄が目隠しされます

関係書類の管理は厳重に

マイナンバーの提供を受けた人は、その情報が漏えいしたりすることのないよう厳重な管理が必要です。

適切な管理の例

- マイナンバーが書かれた書類やカードのコピーは鍵付きの書棚で保管
- パソコンでマイナンバーを管理する場合は、ウィルス対策ソフトの導入やファイルをパスワードでロックする、ID・パスワードでパソコンを利用できる人を制限するなどの対策
- マイナンバーを取り扱う人の指定や研修の実施

不要になった書類を廃棄する場合も、マイナンバーの確認ができない程度に細かく裁断する必要があります。

通知カードは身分証明に利用できません

写真付きのマイナンバーカードは、表面は身分証明書として利用が可能です。

マイナンバーに関わりのない手続きでも表面のコピーは可能です。一方で、マイナンバーが書かれた裏面をコピーした場合は、マイナンバーの不正利用・不正提供になりますので、ご注意ください。

写真のない通知カードは、本人にマイナンバーをお知らせするために作られたもので、表面にマイナンバーが表示されています。身分証明書として使うことができないことになっており、マイナンバーに関わりのない事務でコピーすると、マイナンバーの不正利用・不正提供になります。

マイナンバーの不正利用・不正提供は、法令違反になり、罰則の対象になる場合もありますので、十分な注意が必要です。

このほか、防犯カメラに映り込んで他人に知られてしまうということも考えられます。自分が知らないうちにマイナンバーの情報を盗み取られ、トラブルに巻き込まれることのないよう、マイナンバーカードや通知カードの取り扱いには十分ご注意ください。

通知カードは身分証明として利用できません

意見箱を設置します

皆さんのご意見をお寄せください

町では、町民の皆さんのご意見やご提案をまちづくりに活かすため、意見箱を設置します。さらに住みよい軽米町とするために、皆さんのご意見をお寄せください。

○設置開始日

3月23日（水）～

○設置場所

- 役場　町民ホール
- 小軽米出張所
- 晴山出張所
- 町立図書館
- 物産交流館

○その他

- いただいたご意見は定期的に回収します。
- 意見の記入用紙は、意見箱の設置場所のほか、町ホームページでも入手できます。
- 匿名でもかまいません。

※取り扱う内容は、まちづくりについての提言や行政に対する要望です。他人の秘密やプライバシーに関わるもの、誹謗中傷などの不適切な内容は受け付けません。

この記事に関するお問い合わせは
総務課（☎４６－２１１１）まで

～少年少女が憧れの大地へ～

・中高生海外派遣事業・

バレーカソリック学校で現地の先生と一緒に記念撮影

軽米町と一戸町が合同で実施している中高生海外派遣事業の事後報告会が２月１日に軽米中央公民館で行われ、町内から参加した生徒６人が出席しました。１月４日から11日まで、アメリカ合衆国西海岸のオレゴン州ポートランド近郊でホストファミリー宅でのホームステイなどの研修を行った生徒たち。遠く異国の地で、文化の違いを体験した驚きや国境を超えた人と人とのつながりの感想などを報告した内容を紹介します。（活動報告書から抜粋しています）

事後報告会の様子

工藤　ひかるさん
（軽米高１年）

私は、日本とアメリカの生活習慣・文化・性格の違いを実感した。

第一に、生活習慣の違いについてだ。例えば、部屋の扉を開けておくことが普通であり、日本のように閉じてしまうと具合が悪いと思われてしまう。また、朝食を食べる習慣がなく、私だけ食べることもあった。

第二に文化と性格の違いについてだ。私のホストファミリーは、「あなたがこの家で居心地良く過ごせることを望んでいる」と言ってくれた。私は、ホストファミリーが私にとって居心地の良い場所を提供してくれると思ってしまった。それがそうではなく、私自身が家の中で居心地の良い場所を見つけるという意味だった。それは、日本のように何から何まで面倒を見てもらうことではなく、家の中では好きなように過ごしてということだった。日本人としての価値観を持ったまま、渡米した私は、これがカルチャーショックを受けた原因となった。

小笠原　理恵（りえ）さん
（軽米高２年）

私は海外派遣で私の人生観を大きく変える二人に出会いました。

一人目は、私のホストマザーです。私達は毎日、家に帰って一緒に夕飯を作り、寝るまでずっと話をしていました。私から将来についての相談を受けていたマザーは「わくわくすることをして生きるのは素敵なことよ」と、最後に言いました。

二人目は、アメリカでの全過程を共に過ごしたコーディネーターのキクヨさんです。キクヨさんは自分の好奇心に誠実に生きている方です。

私がキクヨさんに「何歳ごろに腰を据えるのですか」と聞くと、「今の状態が私の中で落ち着いている状態だよ。今は、次に何をしようか考えている。」と教えてくれました。

私は二人に出会い、大きく変わることが出来ました。二人は私に、「あなたの世界は広い」と教えてくれました。私は今後、自分が本当にやりたい事について考え続けます。

長者森　あかりさん
（軽米中２年）

今まで習った英語で「～してもいいですか」という英語を現地で使うことができ、その他に学校で習った英語も使うことも出来ました。私は自分が今まで学校で習った英語を使えることができて「良かった、忘れてなくて」と少し安心しました。でも、会話をするには知らない単語が多くあり、知っていた言葉が使えないことがだんだんと聞き取れるようになりました。更に私自身、自分の感情を行く前より表現出来るようになったと思います。

５日間のホームステイは、あっという間にお別れの時間がやってきました。朝、家を出るとき家族みんなが一人ひとり私に抱きついてきてくれたときは、家族のみんなに受け入れてもらえていたんだと改めて思いました。

そして、外国と日本の文化や、風土の違いの多さにも驚きました。言葉が通じない中で英語だけではなくとても多くのことを吸収してこれたのは良かったと思います。

しかし全然話せず困っていると、生徒の方から積極的にはなしかけてくれました。アメリカの人は、とてもオープンで自分の考えを堂々といえていました。

また、文化や生活習慣の違いを実感しました。私がアメリカの生活の中でなれなかったのは、食べ物の文化の違いです。ピザやクッキー、パンなど日本でも普段食べているものでも全く味が違いました。アメリカは、いろんな国の出身の方がいるので各家庭によってサックランチや朝ご飯、食べる料理の系統がちがうことを知りました。

皆川　貞奈（ていな）さん
（軽米中２年）

私は、この事業に参加出来ると聞いた時、全く違う環境、言語の国で一週間生活できるだろうか?という不安が募るばかりでした。

ホストファミリーが迎えに来た時は楽しみな気持ちいっぱいで、笑顔で行きました。家に到着してからは緊張のあまり思うように話せませんでした。だけど、自分は何をするために来たのかを考えてファミリーに話しかけました。ホストマザーが夕食の準備をしていてくれて、とても美味しかったです。冷蔵庫の中の物は自由に食べていいよと言われました。それは、私を家族として受け入れてくれるということだと思い、笑顔でありがとうと伝えました。

家に帰ってからは、ファミリーへ感謝の手紙を渡しました。読んだ後、涙を流して喜んでくれました。

私はホストファミリーに出会えたことに感謝しています。ファミリーは生活している中で私を変えてくれました。

田代　明莉（あかり）さん
（軽米中２年）

期待と不安でいっぱいになり、出発前もそのあとも緊張しかしませんでした。アメリカの空港でパスポートを見せて質問に答えるときは、緊張しすぎてひや汗をかきました。

私が、アメリカでの生活を通して一番感じたことは、文化の違いと人柄の違いです。バレーカソリック高校と中学校に行った時、とても緊張していて全然話せず困っていると、生徒の方から積極的にはなしかけてくれました。アメリカの人は、とてもオープンで自分の考えを堂々といえていました。

また、文化や生活習慣の違いを実感しました。私がアメリカの生活の中でなれなかったのは、食べ物の文化の違いです。ピザやクッキー、パンなど日本でも普段食べているものでも全く味が違いました。アメリカは、いろんな国の出身の方がいるので各家庭によってサックランチや朝ご飯、食べる料理の系統がちがうことを知りました。

（上）今年の伝楽坐の演劇には宇漢米太鼓や郷土芸能団体も出演し、会場を沸かせました

①山内地区の皆さんによる『南部俵積み唄』
②田畑多吉さん（下新町）の『長崎は今日も雨だった』
③軽米中学校吹奏楽部による演奏
④向屋敷萌さん（笹渡）の『はぐれコキリコ』
⑤晴山保育園児による『清流昇り打ち』

第14回軽米町民生涯学習フェスティバル（住民の手による生涯学習フェスティバル実行委員会主催、田名部晴夫会長）が2月7日、軽米中学校の体育館で開催されました。

歌や踊り、演劇、よさこいなど、今年も元気な町民の皆さんが出演。町内から25の団体や個人、延べ250人を超える参加がありました。

485人の来場者は、約6時間にわたるステージを楽しみました。

田名部会長は「子どもから大人まで大勢が参加する貴重なイベントとして、町民の皆さんに楽しみを与えられれば。日ごろの学習の成果を発表してほしい」とあいさつ。

フェスティバルの開催にあたり、今年も延べ38人のボランティアスタッフが参加。前日や当日の会場準備、道具の搬出入、照明や音楽など、全てボランティアによって進められました。

-町体育協会表彰-

大舞台での活躍を表彰

県大会などで顕著な成績を収めた競技者・競技団体に贈られる町体育協会表彰の表彰式が、２月７日の生涯学習フェスティバルの会場で行われ、３競技団体と個人13人に対し、中村正志町体育協会長より賞状が、田頭一男同副会長から記念品が贈られました。表彰者は以下のとおりです。（敬称略）

表彰式終了後、記念撮影を行った受賞者の皆さん

【優秀選手・優秀団体】

陸上競技	松浦　良太	軽米高校２年
剣道	佐々木　莉紗	福岡高校３年
ソフトテニス	滝沢　怜美	花巻南高校２年
	紫葉　美玲	軽米中学校２年
	於本　萌吹	軽米中学校２年
	小笠原　龍介	町ソフトテニス協会
	中里　麻乃	町ソフトテニス協会
	小林　笑美子	町ソフトテニス協会
卓球	屋敷　大	小軽米小学校６年

卓球	軽米中学校卓球部女子 高柳里佳子、田代明莉、長者森あかり、 小林美慶、袰主花菜、小平夢夏	
サッカー	田中　春希	軽米小学校６年
パークゴルフ	日影　マサ	町パークゴルフ協会
グラウンド・ゴルフ	並岡　ナミ	町グラウンド・ゴルフ協会
相撲	古舘　文明	町相撲協会
クレー射撃	町クレー射撃協会 工藤尚希、菅原茂、木村　隆	
ゲートボール	町ゲートボール協会 山下正勝、日山一夫、田澤勝蔵、中村幸助、 栃木一男、奥谷誠四郎、蛇口久夫、関向光幸	

～暮らしの安全、より確かなものに～

町消防団第６分団第２部にポンプ車、軽米分署に高機能救急車、地域整備課に除雪車を導入

２月17日、二戸消防署軽米分署（本田重信分署長）の高機能救急車が更新されました。地上災害や気象の影響に強い衛星電話や心電図を医師へ直接送信できる機械を備えた新車両に「装備に加え、これまでの救急車に比べ室内も広くなり、患者さんへの処置がしやすくなった。新しい車両や装備で患者さんだけでなく、活動する我々も安心が高まる」と本田分署長は話しました。

町消防団（山舘松五郎団長）第６分団第２部にポンプ車が配備され、２月24日に役場庁舎前で引き渡し式が行われました。山舘団長は「第６分団にポンプ車が導入されたのは初めてで、これで町内のすべての分団にポンプ車が配備された。出動がないことが第一の願いだが、操作訓練を積みながら、万一の時に備えたい」と意気込みを新たにしました。

同25日には地域整備課に除雪トラックが納車され、安全祈願式が行われました。夏場は道路維持などのトラックとして、冬場は除雪車両として年間を通じた活躍が期待される新車両を前にして山本町長は「毎年のように降る大雪に対する迅速かつ適正な対応は、町民の願いであり町の使命である。新車両の導入で、より暮らしやすい町となるよう職員には頑張ってもらいたい」と激励しました。

軽米分署に導入された救急車

救急車の中にはたくさんの資機材

第６分団で初となるポンプ車

車両前方についた除雪用のスノープラウは取り外しが可能

軽米サッカースポーツ少年団

田中春希くん 県選抜で全国の舞台へ！

軽米小サッカースポーツ少年団の田中春希（はるき）くん（6年生）が2月27～28日に茨城県ひたちなか市で開催された第26回関東選抜少年サッカー大会に岩手県選抜のゴールキーパーとして出場しました。「相手のシュートを止めたときは最高に気持ちがいい。選抜チームはみんなレベルが高いけれど、その中でも自分が一番、誰にも負けたくないという気持ちでやっている」と話す田中くん。好き嫌いなく、食べることも全て自分の力になるという体づくりへの意識の高さからか、身長は180㌢で現在も成長中。「将来はワールドカップやヨーロッパのリーグで活躍したい」と意欲を燃やす田中くんの今後の活躍に期待です。

スポ少の仲間と練習に汗を流す田中くん（中央）

（上）カデット団体女子の部で優勝の軽米中学校卓球部女子
（右）カデット団体男子の部で優勝の軽米中学校卓球部男子
（左）ホープスミニ、ホープスの部で優勝した（左から）笹山さん、野中くん、屋敷くん

町長杯卓球大会結果

第37回町長杯卓球大会が1月31日、町民体育館で開催されました。町内外から延べ約200人が参加し、町内選手が多数優勝しました。各部門の優勝者は次のとおりです。（町民のみ、敬称略）

▶ホープスミニ男子…野中大地（だいち）（軽米小4年）▶ホープス男子…屋敷大（やまと）（小軽米小6年）▶ホープス女子…笹山さくら（晴山小6年）▶カデット男子…池端蓮（れん）（軽米中2年）▶カデット女子…田代明莉（あかり）（軽米中2年）▶カデット団体男子…軽米中▶カデット団体女子…軽米中▶アマチュア女子…屋敷和子（かずこ）（笹渡）▶一般男子…南有紀（ゆうき）（町卓球協会）▶一般女子…内城阿弥（あみ）（町卓球協会）

町総体卓球競技
山内・笹渡が優勝

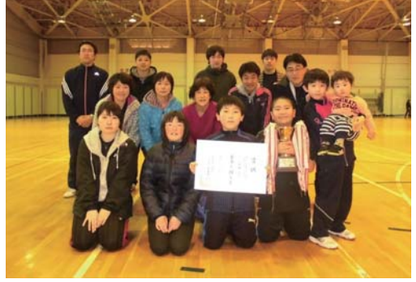
第38回町総合体育大会卓球競技第35回大会が2月14日に町民体育館で開催されました。町内8チーム、135人が出場し、Aブロックは山内、Bブロックは笹渡が優勝を飾りました。

上位チームは以下のとおりです。

■上位結果（〇に数字は順位）

【Aブロック】①山内　②観音林　③米田

【Bブロック】①笹渡　②上舘連合　③増子内



（上）Aブロック優勝の山内チーム
（左）Bブロック優勝の笹渡チーム

統計功労者表彰

百鳥武三（たけぞう）さんに 農林水産大臣表彰

平成27年度岩手県統計大会が2月4日、盛岡市民文化ホールで開催され、百鳥武三さん（百鳥）が、農林水産大臣表彰を受賞しました。

昭和40年に農林業センサスの調査員として任命されて以来、現在まで連続して調査に従事してきた百鳥さん。永年の農林行政施策の基礎資料整備への功績が認められ、今回の受賞となりました。

「皆さんがきちんと正確に回答してくれるので、特段の苦労もなくここまで続けることができました。今後も一つ、よろしくお願いします」と控えめに話す百鳥さんですが、わかりやすい丁寧な説明と対応に努める姿勢は、他の調査員の模範にもなっています。

賞状を手にする百鳥さん

二戸地方農林水産振興大会
高家地域資源保全隊など 1団体と3組が表彰

2月5日に二戸パークホテルで開催された二戸地方農林水産振興大会で、町内の1団体と3組が表彰されました。

各賞と受賞者は次のとおりです。（町内団体と町民のみ、敬称略）

明日を拓く担い手賞
吉岡寿（ひさし）・咲江（さきえ）夫妻（七ツ役）

活力とうるおいにあふれた「むらづくり」賞
高家地域資源保全隊

功労賞　葉たばこ部門
日山政俊（まさとし）（車門）

飼料用米多収コンクール　優秀賞
木戸悦男（えつお）（新井田）

創意工夫した取組を行っている集落組織として表彰を受けた高家地域資源保全隊の苅敷山一男さん（右）

町交通指導員 竹林朝雄（あさお）さんを 新たに任命

町交通指導員の辞令交付式が2月1日に町長室で執り行われ、山本賢一町長から竹林朝雄さん（63歳、中村）に辞令が手渡されました。竹林さんは「自分に務まるか不安も大きいが、町の交通安全のために精いっぱい頑張ります」と宣言しました。

竹林さんが加わり、町の交通指導員は総勢10人となり、任期である平成29年3月31日まで、死亡事故ゼロの継続と飲酒運転の根絶をめざし活動します。

新たに任命された竹林さん

◆皆さんの地域の話題や情報をお待ちしています。
総務課広報担当（☎４６－２１１１・内線２０６）までご連絡ください

昔ながらの遊びを体験

首都圏交流ツアー

上の句が読まれると必死に下の句の札を探す参加者たち

当町と首都圏消費者の交流事業として『小正月行事と伝統芸能えんぶり鑑賞ツアー』が2月16～17日に開催され、首都圏から12人が参加しました。16日は軽米中央公民館で町民の方々と一緒に、みずき飾りや百人一首などを体験。参加者の木下恭子（きょうこ）さんは「みずき飾りもかるたもとても新鮮で楽しませてもらった」と笑顔。その他にも、小正月のごちそうだったそば打ちや、餅つきを体験し、つきたての餅を食べながら楽しい交流となりました。

みんなで集めた空き缶で

小軽米小学校がせせらぎに車いす寄贈

小軽米小学校（藤元実（みのる）校長、児童74人）の児童たちが２月23日、デイサービスセンターせせらぎ（江刺家兵太郎（ひょうたろう）理事長）に空き缶を集めて購入した車いすを寄贈しました。空き缶およそ２万本で車いす１台が購入できるそうで、今年度は24,964本を集めました。車椅子を受け取った江刺家理事長は「一生懸命空き缶を集めてくださりありがとうございます。大切に使わせてもらいます」と感謝の言葉を伝えました。

大事に使ってください、と手渡しました

一年の学習の締めくくり

エゴマの調理実習

軽米小学校（三浦由和（よしかず）校長、児童242人）の５年生43人が２月15日、エゴマを使った調理実習を行いました。このエゴマは児童たちが町のエゴマ生産者の指導を受けながら自分たちで育てたもので、搾油後のカスを粉末状にしたものを混ぜたひっつみと、同じく自分たちがバケツで育てた米を使った雑穀おにぎりを作りました。子どもたちからは「ちゃんとエゴマの匂いがする」「食感がすごくプリプリしてる」との声が聞かれ、好評のようでした。

おいしいひっつみができました

地の文を伝える

「あの日から」出版記念朗読劇

一つ一つの言葉を丁寧に紡ぎます

２月14日、軽米中央公民館で東日本大震災をテーマとした短編小説集「あの日から」の出版を記念した朗読劇が開かれました。当町の北上秋彦（あきひこ）さんなど岩手県出身作家の作品を二戸市民文士劇の出演者たちが物語りました。北上さんは「同文士劇にも携わり、ぜひ軽米町で朗読劇をしたいと思った。演劇と違い、セリフだけでなく地の文（説明などセリフ以外の文）も伝えなければならない」と朗読劇の魅力と難しさを語りました。

昭和60年10月31日姉妹提携

音更町だより

町アイスホッケー協会主催の「町民長ぐつアイスホッケー大会」が行われ、８チーム７３人が参加しました。氷上で思うように動けず悪戦苦闘の参加者たちは、滑ったり転んだりしながらも懸命にボールを追い、試合を楽しんでいました。

ツルツルの氷上に苦戦

トップレベルの技術と精神

青少年のつどい

町出身で盛岡南高校バスケットボール部で活躍している大崎拓真（たくま）くん（右）も教えてくれました

軽米町民体育館で２月20日、青少年のつどい（青少年健全育成町民会議主催、田名部晴夫（はるお）会長）が開かれ、町内の小・中・高校生など107人が参加しました。県立盛岡南高校バスケットボール部の斉藤資（たすく）監督と部員５人が講師となり、体づくりや練習方法などを伝えました。斉藤監督は「ルールの範囲の中でずる賢くなることも必要」「ちょっとずつのこだわりの積み重ねが、１年後２年後に大きな差を生む」と町の子どもたちを鼓舞しました。

皆さんのおかげで

田野畑村漁協が復興支援のお礼に訪町

お礼に田野畑産の新鮮なワカメをいただきました

２月９日、田野畑村漁協浜岩泉浦女性部の工藤房子（ふさこ）部長と工藤多美子（たみこ）さんが震災後の支援へのお礼にと役場を訪れました。２人を出迎えたのは千葉エイ子さん（沢里）と久保滿子（みつこ）さん（仲軽米）。婦人消防協力隊の研修会で被災地の様子を目の当たりにした２人は沢里婦人会に呼びかけ、使われていたお膳や食器などを田野畑村漁協女性部へ寄贈しました。工藤部長は「皆さんの支援のおかげでここまで頑張ってこれました」と感謝の言葉を述べました。

軽米高校の存続を願い集う

新たな県立高校再編計画（案）に関する説明会

２月15日、新たな県立高校再編計画（案）の説明会が軽米中央公民館で開催され、町民など55人が参加しました。少子化などによる県立高校の統廃合や学級数の調整などを示した計画（案）の中で、軽米高校の学級数は維持されましたが、今後の状況で見直しも行うことなど県教育委員会から説明がありました。説明会の後、軽米高校同窓会から『軽米高等学校を応援する会（仮称）』立ち上げの提案があり参加者からは同意の拍手が送られました。

県教育委員会からの説明に熱心に聞き入る参加者たち

キラキラ光る

思いつきで遠出しちゃいます

松谷　祥太朗（しょうたろう）さん
（23歳、松ノ脇）
身長174㌢、Ａ型
軽米町学校給食共同調理場
（軽米町給食センター）

昨年の９月から町の給食センターで事務と調理補助として働いている松谷さん。

Q、自分の性格を一言で言うと？

人見知りで、すごくマイペースです。

Q、今の職業を選んだ理由と、実際に働いてみてどうですか？

自分の育った町に貢献したいと思ってこの仕事を選びました。体調管理に気を遣うことが大変だったりします。

Q、趣味や休日にやることは？

趣味は、友達とドライブで（ふらっと）遠くへ行くことです。休日は何の前触れもなく思いつきで友人に連絡して十和田湖などに出かけたりします。

Q、あなたの夢は？

少しでも早く仕事を完ぺきにこなし、頼りにされるような人になりたいです。

Q、町をどう思いますか？

自然が豊かで平和な町だと思います。都会には無い良い所がたくさんあると思います。

▼好きなスポーツ…ＵＦＣなどの格闘技観戦。
▼好きな食べ物…パスタ
▼好きな色…黒
▼今欲しいもの…身長あと６㎝
▼今の悩みは…太ってしまった
▼理想の異性のタイプ…やさしくて落ち着いた人。芸能人だと真木よう子さん。

今月の俳句（北光吟社１月例句会）

独楽回す五歳児の闘志ありにけり　川﨑　郁子
大雪や狭庭の樹々の埋れけり　千葉　ふみ子
生かされて命つなげる去年今年　高橋　美智子
小正月膝寄せ合ひて回す数珠　千葉　紅園
書初の心新たに筆をとる　川島　由蔵
つつきあふ残りし木の実初鴉　丹下　美恵子
追羽根も手毬も知らぬ子等なりし　君成田　美代子
初御空木々の梢に風少し　松村　英子
雪折れの最も多し松と杉　三上　千栄女
凍豆腐寒大根も亡母をまね　早川　慶子
日の匂い母のにほひの干菜汁　中田　紀子
小鳥来て止まらんとする枯尾花　中野　とき子

※町文化協会「北光吟社」の例句会より俳句を紹介しています

いじめのない世の中に

■夢・希望・えんぴつ■

晴山小学校６年
長者森　ひよりさん
（下野場）

私はもうすぐ小学校卒業を迎えます。６年生になってから、歴史を学んだり、未来について考えたりする学習をしてきました。国語の学習で未来がよりよくあるために自分の考えをまとめる学習をしました。私は身近なところから考えると「自殺」のない世の中がずっと続くことだと思いました。そのためには「ごめんね」「ありがとう」を言う勇気が大切だと思います。

私は毎年のように、いじめで自殺した人のニュースを見ます。その時は、とても心が痛みます。以前「ぼくらが作ったいじめの映画」という本を読みました。この本の中にある一文がとても心に残りました。それは「ごめんって魔法の言葉だよね」という一文です。ごめんが言えたら、いじめで自殺する人はいなくなるのではないでしょうか。

好き嫌いはあるかもしれないですが、私のクラスはみんな仲良しです。お互いの良いところを認め合い、悪かったと思う時は、「ごめん」が言えるからだと思います。

私は自分も「ごめんね」や「ありがとう」を言える勇気を持ち続けていきたいです。

いわて国体 わんこ情報局

いわて国体に関する情報をお伝えします

希望郷いわて国体冬季大会が閉幕しました

岩手県の最終成績は第４位！

２月23日にスキー競技の全日程が終了し、希望郷いわて国体冬季大会が閉幕しました。

岩手県は男女総合成績で第４位と好成績で、1988年以降の冬季国体の結果では最高順位を記録し、今年10月からスタートする本大会に弾みのつく結果となりました。

軽米町からも応援に行きました

「希望郷いわて国体冬季大会観戦ツアー」が１月30日（フュギュアスケート競技）、２月21日（スキージャンプ競技）の２日間実施され、軽米町から延べ22名が会場で選手たちに声援を送りました。

日本トップレベルの選手たちの競技を体感した参加者は「普段テレビでしか見たことのない競技を間近で見られて楽しかった！」と興奮した様子でした。

【岩手県の冬季国体最終成績】　**総合成績　第４位（178点）**

◆スケート競技　第４位　◆アイスホッケー競技　第13位　◆スキー競技　第８位

生活安全の森

二戸警察署軽米駐在所（☎４６－２００４）

～特殊詐欺の被害に遭わないために～

■軽米町における特殊詐欺の特徴

①６５歳以上の高齢者が被害に遭う（未遂を含む）ケースが非常に多いです。
②架空請求詐欺（接続料金）が増えています。
③新たな手口が増えています。
「特殊詐欺で被害に遭った現金を取り返します」などです。

■被害に遭わないための注意点

《一人で判断せず、必ず誰かに相談》

- 「ハッキリしない請求」は無視してまず相談
- 「お金を借りるのに先に保証金を払え」は詐欺
- 「お金を返すからＡＴＭへ行け」は詐欺
- 「電話番号が変わった」という電話は詐欺のはじまり
- 「必ず儲かる」は詐欺
- 「宝くじの当選番号を教えます」は詐欺

■「おかしい」と思ったら．．．

すぐ１１０番通報や、二戸警察署（☎２９－０１１０）または、軽米駐在所（☎４６－２００４）、晴山駐在所（☎４７－２１１０）小軽米駐在所（☎４５－２１１０）の各駐在所まで相談をして下さい。

１月の事故と救急の数字

▶町内の交通事故、救急車出動回数

	当月	累計	昨年比
人身事故	０件	０件	±０
死亡者	０人	０人	±０
負傷者	０人	０人	±０
物損事故	27件	27件	－４
救急車出動回数	47回	47回	－14

※（累計）は１月からの合計です。見直しにより前月の数値と異なる場合があります

▶１月の飲酒運転検挙者はありません

軽米病院だより

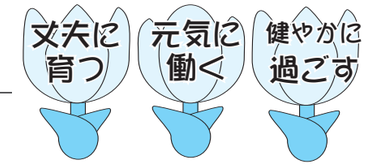
岩手県立軽米病院（☎４６－２４１１）

コンビニ受診

コンビニ受診という言葉があります。軽症患者が「平日は休めない」「日中は用事がある」「明日仕事があるから」等の個人的な理由で、本来重症者の受け入れを対象とするはずの救急外来を、夜間や休日に受診をする行為（ウィキペディアより）のことだそうです。ある大きな病院の場合には救急車で受診する多くの患者さんが歩いて帰る状況で、救急外来の入り口に救急車が並び、本当の重症の患者の診療に支障が出ており、また、医師の疲弊にもつながっています。そういう地域では手足の麻痺があるのに数日してから受診したら脳梗塞だったということも多いようです。

コンビニ受診は、軽米病院の場合には多くないと思っていますが、受診するかどうか迷ったら、病院に電話して相談してみるのもいいと思います。われわれがいつでも対応できるという安心感を住民の方々に持っていただいた上で、お互いの良好なコミュニケーションのもとに、適切な受診をめざしていくのがいいと思います。軽米病院には大学などからたくさんの医師が応援に来ていますが、軽米ではコンビニ受診がないとなれば、町の評判も上がります。

（院長　横島孝雄（たかお））



健康福祉課（☎４６－４１１１）

あなたも心のゲートキーパー

健康福祉課
保健師長
日向　安子

体の調子と同じように、心も調子を崩すことがあります。元気な時は気持ちの不調を感じながらも上手に対処して生活をできているものですが、２週間以上の気分の落ち込みが続くと、対処をする気力も無くなり、気持ちがふさぎ込んだり、元気がなくなったりします。体に現れる症状として眠れない、食欲がない、頭痛やだるさ、おなかの調子を崩すなど、自分ではどうすることもできない状態に置かれてしまうことが多くあります。

心の不調やうつは、周りにいる家族や友人、学校や職場など身近な人が気づくこともあります。「いつもと違う」「最近元気がない」など、いつもとの違いに気づき一人ではないことを伝えるため『温かい気持ちをもって言葉をかけ』『専門機関へつなぎ』『見守っていく』これが、ゲートキーパーの役割です。

こころの不調、うつ病の早期発見や回復のため、そして自分から命を絶つ人を一人でも救うために地域みんなで支えあっていきましょう。

平成27年国勢調査の結果速報

軽米町の人口は・・・９，３３３人

平成27年国勢調査へご協力いただきありがとうございました。調査の結果、平成27年10月１日現在の町の人口は9,333人、世帯数は3,318世帯となりました（ともに速報値）。前回の平成22年の調査より、人口で8.6％（876人）、世帯数は0.7％（25世帯）の減となりました。

【問い合わせ先】総務課（☎４６－２１１１）

人口・世帯数の推移

単位：人、世帯

年	人口	世帯数
昭和30年	17,553	2,902
50年	14,130	3,442
平成７年	12,290	3,517
12年	11,863	3,533
17年	10,997	3,456
22年	10,209	3,343
平成27年	9,333	3,318

国勢調査より抜粋

図書館だより

町立図書館（☎４６－４３３３）

図書館利用案内

［開館時間］〈火～金〉9:00 ～ 18:30　〈土・日〉9:00 ～ 17:00
どなたでも利用できます。お気軽にご利用ください。

ー今月の新刊ー

【児童書】

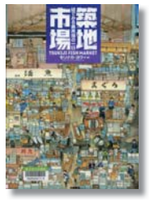
だんまりうさぎとおしゃべりうさぎ

（偕成社）

作/安房直子　絵/ひがしちから

ひとりぼっちのだんまりうさぎに、お友だちができました。山のむこうのおしゃべりうさぎです。おしゃべりって楽しいね。お友だちってすてきだね。

築地市場　絵でみる魚市場の一日



（小峰書店）

作・絵／モリナガヨウ

約 80 年にわたって日本の食を支え続けた築地市場の今を、感謝の気持ちをこめて徹底取材。最も活気にあふれる夜中の 11 時から朝７時ごろの魚市場をイラストで紹介します。

【一般書】

孫育ての時間（とき）　祖父母に贈るはじめての育孫書

（吉備人出版）

編/山縣威日　編/中山真由美

孫のためにして喜ばれることは？おじいちゃん、おばあちゃんと一緒に孫がやりたいことって？産婦人科医、小児科医、保健師らが、孫育てについてアドバイスする一冊です。

ロング・ロング・ホリディ

（ＰＨＰ研究所）

著/小路幸也

僕らは探していたんだ。見えない未来を。この場所で―。80 年代初めの札幌を舞台に、喫茶店でアルバイトをする大学生と店に集う若者たちの成長と苦悩を描いた長編小説。

町のこよみ・かるまいカレンダー

3月　March

16	水	2歳児健診【ふ】13：00～13：30受付 家族介護者のつどい【防災センター】13：30～15：30
17	木	
18	金	
19	土	
20	日	
21	月	【春分の日】
22	火	こころの健康づくり講演会【環】13：00～16：00
23	水	
24	木	
25	金	
26	土	
27	日	マイナンバーカード交付休日開庁日【町民生活課】9：00～16：30
28	月	
29	火	教育相談【公】9：00～15：00
30	水	
31	木	

4月　April

1	金	
2	土	
3	日	
4	月	胃検診【晴山公民館】6：00～8：30受付、【高家生活改善センター】6：00～8：30受付
5	火	胃検診【ふ】6：00～8：30受付
6	水	胃検診【小軽米生活改善センター】6：00～8：30受付
7	木	胃検診【笹渡農業構造改善センター】6：00～8：30受付
8	金	胃検診【山内生活改善センター】6：00～8：30受付
9	土	胃検診【環】6：00～9：00受付
10	日	胃検診【環】6：00～9：00受付
11	月	胃検診【円子生活改善センター】6：00～8：30受付
12	火	
13	水	乳児健診【ふ】13：00～13：30受付
14	木	
15	金	

（カレンダー中の【　】は開催場所で下記のとおり表示します）
体:町民体育館　環:農村環境改善センター　公:中央公民館
図:町立図書館　病:県立軽米病院　ふ:健康ふれあいセンター
老:老人福祉センター　フ:雪谷川ダムフォリストパーク・軽米
ミ:ミレットパーク　歴:歴史民俗資料館　ハ:ハートフル・スポーツランド　運:町営運動場　ゲ:ゲートボール場

スナップ写真館

感謝の会
（2/19、小軽米小学校）

もち米づくりを手伝ってくれた地域の方をご招待

お知らせ情報 Information

もっと知ろう　みんなの国民年金

ご存じですか？国民年金の任意加入制度

老齢基礎年金（65歳から受けられる年金）は、20歳から60歳になるまでの40年間保険料を納めなければ、満額の年金を受け取ることができません。

保険料の納め忘れなど、納付済み期間が40年間に満たない場合は、60歳から65歳になるまでの間に国民年金に任意加入して保険料を納めることで、満額に近づけることができます。

なお、老齢基礎年金を受けるためには保険料の納付済期間や免除期間などが原則として25年以上必要となります。この要件を満たしていない場合は、70歳になるまで任意加入することができます。（ただし、昭和40年４月１日以前に生まれた方に限られます。）

また、海外に在住する日本国籍を持つ方も国民年金に任意加入することができます。

詳しくは、二戸年金事務所（☎２３－４１１１）、役場町民生活課（☎４６－４７３４）にお問い合わせください。

内科(9:00～17:00)　休日当番医　歯科(9:00～12:00)

齋藤産婦人科医院（☎23-2505）	二戸市石切所	3月20日（日）	関歯科医院（☎38-2937）	二戸市浄法寺
藤田内科（☎38-2772）	二戸市浄法寺	21日（月）	曽根歯科医院（☎27-3108）	二戸市金田一
ふくもりたこどもクリニック（☎43-3137）	一戸町一戸	27日（日）	渡辺歯科医院（☎23-2052）	二戸市堀野
二戸クリニック（☎25-5770）	二戸市石切所	4月3日（日）	国香歯科医院（☎23-2223）	二戸市福岡
すがわら消化器内科（☎23-2879）	二戸市福岡	10日（日）	菅原歯科クリニック（☎23-1180）	二戸市福岡

（広告スペース）

※広報かるまいでは、町内の業者などの広告を掲載しています

米作りで大切なことや学んだことをグループごとに劇で披露しました

育てたもち米でついたお餅をみんなで食べました

あまりのおいしさに、おかわり！

二戸地域保健福祉活動支援事業

■内容：補助対象経費の10分の８以内で上限３万円
■対象者：介護予防活動に取り組む町内会など
■申込期限：４月28日（木）
■その他：支援対象となる活動や申し込み方法などは下記にお問い合わせください。
【問い合わせ先】町地域包括支援センター（☎４６－３９０６）または町社会福祉協議会（☎４６－２８８１）

歯や口の中の健康に関する無料電話相談を実施

「ヨイ歯デーテレホン相談」
■実施日：４月18日（月）
■受付時間：10：00～19：00（回答は19：00以降となります。折り返し協会歯科医師よりお電話します）
■受付内容：歯・口に関する悩みについてなんでも
■相談料：無料
【問い合わせ先】岩手県保険医協会ヨイ歯デーテレホン相談係（☎０１９－６５１－７３４１）

土地家屋に関する無料相談を実施

４月１日「表示登記の日」を記念して下記のとおり無料相談を行います。
■日時：４月１日（金）10：00～15：00
■場所：二戸地区合同庁舎１階地域交流センター
■相談内容：
▶土地の文筆、合筆、地目変更、地積更正登記▶建物の新築、増築、滅失登記▶土地、建物の調査測量▶境界問題
【問い合わせ先】岩手県土地家屋調査士会二戸久慈支部大村義明（☎４６－２０２７）

いわて花巻空港 3月27日よりダイヤ改正

いわて花巻空港の定期便（札幌、名古屋、大阪、福岡）のダイヤが３月27日（日）から改正されます。改正後の時刻や運行についてなど詳しくは各航空会社にお問い合わせください。
【問い合わせ先】日本航空（☎０５７０－０２５－０７１）、フジドリームエアライン（☎０５７０－５５－０４８９）

新しい民生委員・児童委員をご紹介します

委員氏名（連絡先）
駒木勲（いさお）（☎４７－２１０４）
担当地区
観音林西・南・北
※民生委員は、担当地区を中心に暮らしで困っている方や悩みを持っている方の相談、福祉・保健のサービスを利用したい方と行政との橋渡しをしています。また、不登校問題や育児などの相談に応じる児童委員も兼ねています。
【問い合わせ先】町社会福祉協議会（☎４６－２８８１）

平成28年度 国家公務員採用試験

人事院事務局では、平成28年度の国家公務員採用試験を行います。試験の区分や各期日など詳しくは人事院ホームページ（http://www.jinji.go.jp/saiyo/saiyo.htm）でご確認ください。

仕出し 御膳 味彩（あじさい）
お膳・折詰・弁当・オードブル
お祝いごとやご法事等に
お気軽にお電話ください
☎４６－３６８０　手造りの店 味彩（あじさい）

広報かるまいへの広告掲載者を募集

広報かるまいでは、町内業者などからの広告を募集しています。
広告掲載料：４，０００円/月
（６カ月以上掲載の場合は３，０００円/月）
詳しくは、下記までお問い合わせください。
（問）役場総務課企画グループ（☎４６－２１１１）

（広告スペース）

広報
かるまい
3
平成28年
3月号
(No.684)

表紙のことば

自分の中のおにを追い出せ

笹渡保育園で豆まき

笹渡保育園（石川敦子園長、園児11人）で2月3日、節分の豆まきが行われました。手づくりのおにのお面をつけて、自分たちの心の中から「ケンカおに」や「おこりんぼおに」など追い出したいおにを発表した園児たち。お友達から豆をぶつけてもらい、しっかり退治をしました。田中純平くん（3歳）は「いじわるするおにがいたけど、豆まきをして追い出した」とこれからはお友達と仲良く遊ぶことを約束しました。

冠婚葬祭　1月分　＜敬称略＞

おめでた

（　）内は父母の名

下新町　笹山　詩央（泰嵩・永）
桜山　小笠原　永介（龍介・万里那）
七ツ役　杉浦　悠妃（徹・知恵美）
河北　清藤　梨結（秀・愛姫）
上新町　須藤　珠李（勝太・智子）
山内大久保　荒木田　萌乃（知也・恵美）

おしあわせに

石川　博久（本町）
齊藤　綾子（盛岡）
池田　脩人（向川原）
吉岡　千春（河北）

おくやみ

（　）内は享年

鶴飼　鶴飼　サクヱ（81歳）
下新町　畠澤　貞祐（92歳）
向川原　大鳥　石太郎（90歳）
下円子下組　土佐　定見（82歳）
小松　坂下　ニノ（79歳）
蜂ヶ塚　山下　敏勝（49歳）
軽米駒木　荒川　美野子（78歳）
米田大久保　大久保　春松（82歳）
牛ケ沢　安藤　市三郎（93歳）
笹渡　長助澤　幸藏（78歳）
蛇口　西舘　喜一（91歳）
上新町　西舘　奈津子（41歳）
牛ケ沢　神山　幸雄（62歳）
軽米駒木　中里　キク（94歳）
七ツ役　松脇　喜代治（64歳）
向高家　高田　重男（82歳）

●人の動き　＜平成28年1月31日現在／町民生活課調べ＞

男　4,757人（－10）／女　5,000人（＋2）
合計　9,757人（－8）／世帯数　3,779（－2）
※（　）は前月比

転入　11人（11人）／転出　9人（9人）
出生　6人（6人）／死亡　16人（16人）
※（　）は1月からの累計

※広報誌内において、お名前が俗字であっても正字で記載される場合がありますので、ご了承ください。

ほっとひといき／編集後記

生涯学習フェスティバルは今年も大盛況。出演者の皆さんはステージを目いっぱいに使って躍動していました。

海外派遣事業の事後報告会では、生徒たちの成長した雰囲気を感じました。引率した先生の「楽しかった、だけでなく、気持ちを上手く言葉で伝えられない悔しさを忘れないでほしい」という言葉が印象的でした。

東日本大震災から5年が経ちます。12ページでは復興支援の絆が今なお強く結ばれていることに感動しました。（信）

発行／岩手県軽米町　〒028-6302　九戸郡軽米町大字軽米10-85
編集／総務課
電話　0195-46-2111（代）
FAX　0195-46-2335
ホームページ　http://www.townkarumai.iwate.jp/